



2019年1月24日

各位

会社名 株式会社ボルテージ
 代表者名 代表取締役会長兼社長 津谷 祐司
 (コード番号: 3639 東証第一部)
 問合せ先 財務本部長 古市 守
 (TEL. 03-5475-8193)

2019年6月期第2四半期累計期間 連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2018年11月8日に公表した2019年6月期第2四半期累計期間の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2019年6月期第2四半期累計期間 連結業績予想数値の修正(2018年7月1日～2018年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,700	△150	△155	△165	—
今回修正予想(B)	3,678	△93	△108	△116	—
増減額(B-A)	△22	56	47	49	
増減率(%)	△0.6	—	—	—	
(ご参考)前年同期実績 (2018年6月期第2四半期累計期間)	3,738	△779	△790	△757	—

2. 修正の理由

2019年6月期第2四半期累計期間につきまして、売上高がほぼ予想通りであることに加え、費用を大きく抑制させることができたため、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、前回予想を大きく上回り赤字額が縮小する見込みです。

第2四半期会計期間の売上高については、「日本語女性向け」の既存タイトルは全般的に好調に推移し、10月開始の新規タイトル「あやかし恋廻り」も好評でほぼ想定通りの出だしとなりました。ただし、既存タイトルの一部に不具合が発生したため、全体では概ね計画通りの着地となりました。また、「英語女性向け」「男性向け」も計画通りに推移し、この結果、売上高全体としては概ね想定通りとなりました。

費用は、第1四半期から継続して取り組んでいる「スマート運営」が奏功し、タイトル運営に係る外注費やサーバー費用を大幅に抑制することができました。

この結果、売上と費用をほぼ均衡させることができ、第2四半期会計期間の利益につきましては、若干の赤字は残るものの、黒字近くまで回復させることができました。

なお、通期の連結業績見通しにつきましては、2月7日に開示予定である「2019年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表予定です。

※上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますのでご了承ください。